



2017年1月31日

# 資料館通信 第70号

ふじみ野市立 上福岡歴史民俗資料館 埼玉県ふじみ野市長宮1-2-11 TEL 049-261-6065  
大井郷土資料館 埼玉県ふじみ野市大井中央2-19-5 TEL 049-263-3111

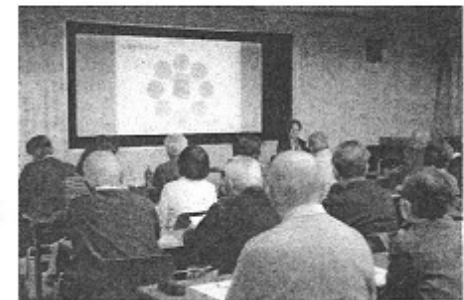
## 展示レポート1

どくう はにわ ぶつぞう  
平成28年度 特別展「人々のすがた～土偶・埴輪・仏像・ひとがた～」を開催しました。

大井郷土資料館 平成28年10月25日(火)～12月11日(日)

本特別展では、ふじみ野市内及び周辺地域で作製され、伝えられてきた人物造形の様々な資料を考古・信仰・芸能・年中行事などテーマを設けて展示しました。市内で発掘された土偶、板碑、江戸時代以降に作られた仏像・神像、祭囃子の面などに加えて、近年ハケ遺跡で出土し、注目を浴びた人物埴輪や埼玉県指定有形民俗文化財に指定されている三芳町竹間沢の車人形用具を展示し、多くの来館された方々に地域に伝わる様々な「人々のすがた」をご覧いただきました。

あわせて、特別展記念講演会「祈りのカタチ～円空仏を中心に～」を11月20日(日)に開催しました。円空仏研究の第一人者である西口由子氏(埼玉県平和資料館主幹)に仏像の見方の基本から円空仏の特徴や円空にまつわるお話をご紹介いただくとともに、特別展で展示・公開した二仏並坐像や阿弥陀三尊立像の造形についても触れていただき、わかりやすく専門的なお話を伺うことができ、54名の参加者が熱心に聴講されました。



写真(上)特別展会場  
(下)記念講演会

## 展示レポート2

ミニ展示&小学校3年生体験学習「昔のくらしと昔の学校」を開催中です。

上福岡歴史民俗資料館 平成29年1月11日(水)～2月28日(火)  
大井郷土資料館 1月16日(月)～2月12日(日)

市内小学校3年生のみなさんが今年も両資料館に来て着物を着たり、はたおり体験や昔の道具に触れる体験学習をしています。会場は熱心に見学し、昔のくらしを楽しみながら体験する子どもたちで日々賑わっています。一般の方々の見学も自由にできますので、どうぞ足をお運びください。

あわせて、子どもたちが昔へタイムスリップするのに協力添えをいただいている資料館友の会及び水引の会の方々に厚く感謝します。

## 特別展「人々のすがた～土偶・埴輪・仏像・ひとがた～」資料紹介

## ハケ遺跡出土の坏を持った人物埴輪

平成26年度にハケ遺跡(福岡3丁目)で確認された9体以上の人物埴輪は、ふじみ野市の古墳時代の歴史を塗り替える大きな発見でした。復元を含めて調査中の段階ではありましたが、今回の特別展ではそのうち9体を公開することができました。

埴輪は男性4体以上、女性4体以上とされており、右の写真の様に、上半身が良く残されている女性埴輪2体については「巫女」ではないか、とも言われています。

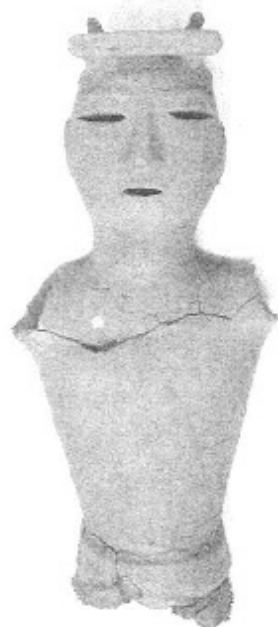
右下の写真は女性と思われる人物埴輪の一部で、坏を持つ左手が表現されています。坏とは古墳時代に大量に生産された容器で、扁平な皿状の形をしており、市内各地の遺跡から発見されています。坏は、茶碗や皿と同様に米や魚介類からスープなどの食物を入れるのに使用されていたと思われます。

女性埴輪については、一般的に巫女、あるいは食膳を司る人々が表現される場合が多いとされています。神前で祈りを捧げる巫女と饗応の席に食事を運ぶ女性の姿、両者は現在の感覚ではかなり異なるように感じます。

ではこの左手を持つ女性はどちらの役割を持つ人だったのでしょうか。今後の調査が進み、胴体の部分も発見されれば明確な答えが得られると思いますが、次のように見ることはできないでしょうか。

巫女について中山太郎という研究者が『日本巫女史』(昭和4年)で「我国の巫女はその最初から、幽冥の境に在る靈魂の言を、顕世の人に伝える靈媒者として考えられていたようである」としているように、いわゆる「この世」と神あるいは霊がいる世界である「あの世」を結びつけることが基本的な役割であったとしています。この坏には神前での儀式に捧げ物を備える食物が入っていた可能性もあります。中山は同書で米・水・塩は神聖な捧げ物とされていたとしており、さらに巫女が神霊を呼び寄せるときに水を入れた碗を用いたことを紹介してい

ます。あるいは「鬘と呼ばれる神への捧げ物が入っていたのかもしれませんが。ちなみに鬘は天皇に献上される諸国からの物産を指す言葉でもあり、「鼓」(塩納豆の一種)や背開きの鮎(干物か)が奈良時代に武蔵国から送られた記録が木簡で確認できます。以上のことから推測にすぎませんが、この坏を持った女性の埴輪は、神事祭礼の儀式で神前に捧げ物を供える役割を持つ巫女を表現したものではなかったか、と考えます。この左手がつながる胴体部分の発見・確認が待ち遠しく思います。



女性の人物埴輪



人物埴輪が持つ坏

## 事業紹介 縄文土器作り教室 ～作品展に至るまでの道のり～

大井郷土資料館では、毎年縄文土器作り教室を開催しています。材料の粘土をこねる作業から焼き上げるまでのプロセスを参加者がすべて自ら行う教室です。今年度（平成28年度）は小学校3年生から大人まで17名でがんばりました。その様子をご紹介します。

### 1. 土器作り1日目（7月30日）

夏休みに入り、猛暑の中、今年の土器作り教室は第1日目を迎えました。親子一緒に、友達と、あるいは姉妹で参加など様々に集うなか、開講式が始まりました。今年も上田寛先生（富士見市資料館友の会）がスライドを使って縄文時代はどんな時代だったか、土器作りの前に解説してくれます。その後縄文原体（土器に縄目の文様をつける道具）作りにチャレンジです。

指の力を入れて紙紐をねじって撚りをかけていく作業は想像したより難しく一苦勞です。ところが、それはまだ序の口、午後からは炎天下のなか、粘土に砂と水を混ぜて粘土こねの作業開始です。手を休めることなくひたすら粘土をこねること2時間余り、ようやく土器を作るための粘土が出来上がりました。

### 2. 土器作り2日目（8月2日）

第2日目はいよいよ土器の形を作ります。本物の縄文土器をモデルにしながら、始めに土器の底となる部分を作ってから、紐状にした粘土を輪積みしていきます。いくつか粘土紐を積み上げていくと、形が崩れてきたり、バランスが悪くなったりするので大変です。形ができると、次は装飾部分を粘土で貼り付けたり、縄文原体を転がして土器の表面に文様をつけていきます。気の抜けない作業が続きますが、班ごとにおしゃべりをしながら和やかな雰囲気ですべての土器を仕上げました。

### 3. 土器作り3日目（8月3日）

第3日目は土器作りの最終仕上げ、磨く作業です。きれいに土器を磨くことで、水もれしない土器にします。その後は、土鈴を作ったり、参加者思い思いの作品を作ります。午後は、本物の縄文土器を使って拓本（たたくほん）の体験です。水を紙に含ませすぎて紙が破れたりもしましたが、みんな一生懸命取り組んでいました。

### 4. 土器作り4日目（12月4日）

土器作り4日目は猛暑での作業から4ヵ月後、場所を富士見市水子貝塚公園に移しての開催です。夏に作った土器は資料館で預かり、天日干しを繰り返してじっくり乾燥させてきました。まずは火を起こしてオキ（炭のようになった薪の燃えさし）を作ったところに土器を並べ、土器の中の水分を飛ばしていきます。その後は豪快に火を起こして土器を焼き上げていきます。参加者は焼き芋を頬張りながら、土器の焼き上がりを待ちます。火を起こし始めてからおよそ3時間、ようやく土器の完成です。全員の土器が割れることなく焼き上がりました。

心をこめて作ったみなさんの作品は、平成28年12月17（土）から12月25日（日）まで大井郷土資料館で「縄文土器作り作品展」として展示しました。みなさんの力作が勢揃いして圧巻でした。縄文土器を作りたい方、来年度の土器作り教室でお待ちしています。



粘土をこねる作業



文様をつけているところ



土器を焼き上げるところ



作品展の会場の様子

## ふじみ野市の両資料館への資料の寄贈

平成28年4月から12月まで次の方々より、各種の文化財資料を寄贈していただきました。紙上をもって厚くお礼申し上げます。

### 市立上福岡歴史民俗資料館分

- |       |   |        |  |
|-------|---|--------|--|
| 6月8日  | 表彰状、感謝状、当選証書等 10点<br>武州瓦斯社長原次郎の書 1点<br>古文書類一式<br>市内 富田尚夫氏   | 8月24日  | 半纏 4点<br>日本手ぬぐい 4点<br>市内 吉野幸子氏               |
| 7月22日 | 弾薬箱（航空用二十耗曳光弾用） 1点<br>市内 三上栄一氏                              | 9月5日   | ナショナルカセットレコーダー 1台<br>フリコミジョレン 1点<br>市内 星野正巳氏 |
| 8月18日 | シャープカセットプレイヤーJC-2 1台<br>サンヨーJJ-P-30カセットプレイヤー 1台<br>市内 中里美子氏 | 12月18日 | 写真 5点<br>市内 杉山輝子氏                            |

### 市立大井郷土資料館分

- |       |                                  |        |                                    |
|-------|----------------------------------|--------|------------------------------------|
| 4月16日 | こども浴衣 1点<br>市内 須藤さち子氏            | 8月31日  | 教育手帖 1点<br>市内 塩野貴一氏                |
| 4月16日 | こども浴衣 2点、浴衣 4点<br>・24日 市内 山口都美子氏 | 9月15日  | 御用箱（亀久保村戸長役場） 1点<br>市内 西山茂氏        |
| 4月26日 | こども浴衣 2点<br>市内 富田千佳氏             | 10月18日 | カメラ 1点<br>市内 信夫暉雄氏                 |
| 4月26日 | 浴衣 1点<br>市内 三原加奈氏                | 11月15日 | 看板（醤油醸造） 1点<br>印鑑 11点<br>市内 高松潤一郎氏 |
| 7月1日  | 浴衣 1点<br>富士見市 小川一代氏              | 11月29日 | アメリカンクラッカー 1点<br>志木市 平井真理氏         |
| 8月10日 | 天秤棒 2点、モリ 2点、金剛杖 3点<br>市内 大隅敏男氏  | 12月8日  | 半幅帯 1点<br>市内 佐藤みち子氏                |
| 8月18日 | 大井箒 6点、長柄箒 9点、手箒 4点<br>市内 内田幸晴氏  |        |                                    |